

平成30年度 都立学校・学校経営シート

校章		<b>都立北豊島工業高等学校</b> 全日制課程		進路実績 特徴	四年制大学	6%	短期大学	0%	専門学校	14%	就職	75%	その他	4%				
		<b>地域に愛され、地域に開かれた工業高校</b> <b>校訓「自治」－実力主義、努力主義、反省主義－</b>			就職内定率100%、計画的なキャリア教育の実践、充実した資格取得の励行													
基	在	所在地	〒174-0062 板橋区富士見町28番1号	電話番号	03-3963-4331													
		アクセス	(1) 都営三田線「板橋本町」下車徒歩約8分 (2) 東武東上線「中板橋」下車徒歩約8分 (3) 都営バス 王子 ←→ 新宿 富士見町都営住宅前下車 4分															
本	情	学 科	総合技術科															
		在 校 生 数	総合技術科412人(男子376人、女子36人)															
報	特	教育課程の徴	50分6限授業、習熟度別クラス(国語・数学・英語・情報技術基礎)															
		ホームページ	<a href="http://www.kitatoshimakogyo-h.metro.tokyo.jp/">http://www.kitatoshimakogyo-h.metro.tokyo.jp/</a>	自律経営推進予算 30年度(単位:万円)	3,097													
報	情	そ の 他	デュアルシステム推進校	校 服	標準服	男子:詰襟(黒) 女子:ブレザー(濃紺)												
		入 学 者 選 抜 情 報	募集人員 推薦:52名(男女問わず)、一般:123人(男女問わず)															
基	本	情	報	特	徴	そ の 他 の 特 徴	28年度入学生	推薦	男女	1.40	29年度入学生	推薦	男女	1.23	30年度入学生	推薦	男女	0.94
								学力検査	男女	1.07		学力検査	男女	0.93		学力検査	男女	0.76
目 指 す 学 校				本校は創立98年目の伝統ある工業高校である。校訓に「自治」を掲げ、「自らの人生を自ら治める」ことができる人材、「本校で学んだ知識と技術を活用して社会に貢献する」ことができる人材の育成を目指す。														

目指す学校 本校は創立98年目の伝統ある工業高校である。校訓に「自治」を掲げ、「自らの人生を自ら治める」ことができる人材、「本校で学んだ知識と技術を活用して社会に貢献する」ことができる人材の育成を目指す。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目 標 ①	入学した生徒が一人でも多く卒業するために教職員が努力する学校 ・昨年度に引き続き、生徒の実態に応じたきめ細やかな学習指導・生徒指導を校内組織全体で取り組む。スクールカウンセラーや関係機関と連携し、家庭とのきめ細やかな対応を行い、いじめなどの問題行動、遅刻防止、長期欠席者への早期対応を行う。それぞれの取り組みを強化して中退者を減少させる。	・学習指導や生徒指導においては、生徒の実態把握に努め、学年や関係分掌との連携を密にしながら組織的な対応を行うことができた。学習指導では、日々の授業だけでなく、補習・補講を実施して学習の定着を図った。 ・スクールカウンセラーやユースソーシャルワーカー、養護教員を中心に、担任・学年・関係分掌と連携を図りながら、いじめや問題行動、長期欠席等への早期発見、早期対応に取り組んだ。 ・中退者数の減少を目標に取り組んでき。特に一年次では、中途退学等、進路変更の数を減少させる十分な結果を出すことはできなかった。次年度も引き続き目標に挙げ、組織的に取り組んでいく。	
目 標 ②	生徒の学力と体力の向上 ・基礎・基本の定着と学習意欲の向上を図り、生徒の学ぶ意欲を喚起するために、自作教材やプリント、実験、実習やICT機器の効果的に活用などの各教員が生徒の実態に応じた創意工夫がある教材を用いて行う。また、部活動や特別活動を通じた体力づくりを推進する。	・中学校までの基礎・基本の定着が不十分のために、高等学校での学習を理解していくことが難しく、学習意欲が持たずに進路変更していく生徒がいる。改善に向け、生徒の実態把握、基礎・基本の定着を図るための学習内容の精選や指導の工夫を行った。また、今年度より教育委員会校内寺小屋事業の指定を受け、1年生で放課後学習を行った。次年度も、1年次での基礎学力の定着および学習習慣の形成に向けて積極的に取り組んでいく。 ・部活動の加入率が低い現状がある。生徒の帰属意識を高めるとともに、自己肯定感を育み自尊感情を高めていけるよう、部活動の活性化は次年度も引き続き課題である。	
目 標 ③	生徒が希望する進路の確実な実現 ・進路指導計画・キャリア計画を作成し、全学年を通して体系的なキャリア教育を充実させる。関係機関と連携した進路ガイダンス、資格取得指導を行う。インターンシップやデュアルシステムなどを通して職業意識を育み、主体的に在り方生き方を考えて希望進路の実現を推進する。	・昨年度に続き就職率100%の実績となった。進路指導部を中心に計画的な指導を実施するとともに、各学年と連携を図り、個に応じた丁寧に指導を行った。早期より働くことの意義を考えさせ、職業意識の育成を図るキャリア教育が結果につながった。キャリア教育の一つとして、2年次のインターンシップ、3年次のデュアルシステムの充実引き続き課題である。また連係いただける企業の開拓も必要である。 ・専門高校のため、将来につながる資格取得は課題の1つである。現在も補習等を行い資格試験対策を行っているが、今後は学校全体で組織的に取り組んでいける体制づくりが課題である。	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	27年度		28年度		29年度		今年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	就職内定者(人)	83	88	83	110	100	88	100	77	100	100	100
目標②	ガス溶接(人)	85	59	70	77	80	62	80	79	80	80	80
目標③	第2種電気工事士(人)	28	18	38	14	25	17	25	24	25	25	25

